

交通安全講習会

日時：平成27年7月2日（木）14：00～14：55

場所：アイホール

○講師：高松北警察署 交通第一課 交通指導係長 木村欣哉（きむらよしや）

- ・国家公務員安全週間の一環として行う。
- ・木村さんは、交通取り締まり、教育等を担当。

○はじめに

- ・北署から歩いてきました。
- ・駅前を大人が自転車で3列横隊で、携帯を使いながら通行していた。駅前の自転車運転は禁止です。

○オープニングテーマ ウクレレ演奏

- ・上手げに聞こえるでしょ。簡単なんです。
- ・老人の集いで、反射テープの良さを紹介し、小道具としてウクレレを使っていることが、新聞に載った。新聞記事を見たTV局 よしかわまよ 生放送にも出るようになった。周りが静かになってしまうと、緊張する。失敗しても、すぐにわかる。
- ・ウクレレ 4本の弦 スリーコード 音楽の基本は3つのコードで弾ける。
- ・右手と左手が違うことをするので、ボケ防止になる。
- ・ハワイ語で、「ウク」とは「ノミ」、「レレ」とは「跳ねる」の意味。ウクレレはノミが跳ねるということ。
- ・お化けの鬼太郎 ゲゲゲのゲ もともとは墓場の鬼太郎で始まり、TV放映することになり、水木茂さんのゲを使い、お化けの鬼太郎に。
- ・お化けになってはいけませんというのが、今日の話。
- ・多くの事故現場に行きましたが、お母さんを亡くした子供、お母さんのご両親、自責の念。「あの時〇〇していれば」と悔やまれる。

○基本は

- ・とまる、みる、まつ → 安全な空間を作る

○交差点

- ・子供の飛び出しに対応するには、速度を落とす。
- ・交差点では、周りを確認し、安全な空間を確保する。

○交通事故発生日報（7月1日現在）

- ・人口10万人あたりの死者 香川県は、全国ワーストワン

31名（昨年に比べて10人の増加）

- ・四輪事故の死者13名中、12人 **9割がシートベルトをしていない。**
- ・若者が5人一度に死ぬ事故が起きた。車が縦に長さが半分になる事故はこれまでも多く見たことがあったが、横の幅が半分になる事故ははじめて。相当のスピードを出していた。
- ・**高齢者**（65歳以上）の死者 19人 **死者数の6割**を占める
- ・昭和37年以降、毎月死者の無い月はなかったが、今年の6月、死亡事故ゼロ。
- ・**ここでちょっと気をつけていたら、こんなことにはならなかったという事故ばかり。**

<ビデオ（24分）>

- ・昨年のビデオは7万円 今日ビデオは8万6400円

○「まさか」、「**思ってもみなかった**」、「**間に合わなかった**」と事故を起こした人は言う。

○追突事故

- ・渋滞中の道路で起きた事故。停止した車に時速15キロで追突。わき見運転。
- ・片側1車線 信号待ちの車に時速25キロで追突 遠くの信号に注視していて、目の前の車に気がつかず。
- ・2件とも、シートベルトをしていたので、大きなけがとはならなかった。
- ・同乗者との会話に夢中、外の景色、考え事など
- ・「**危険はないだろう**」との思いが、**注意を失わせる。**
- ・時速40キロ 空走距離+制動距離は 22m

◇追突事故を防ぐには

- ・「前の車は停止するかもしれない」「前の車は右折、左折するかもしれない」と 安全な車間距離を確保し、速度は出しすぎない。
- ・携帯電話の使用、カーナビへの注視はしてはいけない。
- ・後続車に注意し、停止することをアピールしてブレーキ。

○2輪車の事故

- ・四輪車の左折巻き込みで、車は10キロ、二輪は30キロ 軽傷ですんだ。
- ・「**死角**」に二輪車は入りやすい 後方確認を怠ったために起きた事故。
- ・右方の安全不確認 四輪が右折しようと左の安全ばかりに気が向き、右から来る二輪に気づかず

◇駐車場への出入りの際には

- ・左折して駐車場に入る場合、後方を目で見て安全確認。
- ・右折して駐車場を出る場合には、しっかりと安全確認、相手にブレーキを踏ませるような運転をしてはならない。

○子どもとの事故

- ・信号の無い横断歩道での事故 二人の小学2年生の女の子 右肩打撲で2週間、背中打撲で1週間
- ・右方の安全不確認の歩行者妨害事故 対向車が渋滞中、渋滞中の車の隙間から横断歩道を子どもが走って横断 時速30キロの軽四と衝突
- ・子どもがいつ飛び出してくるか、注視し、すぐに止まれるよう対処して運転

◇歩行者との事故を防ぐには

- ・横断歩道では、いつでも停止できる速度で運転
- ・渋滞で横断歩道の安全確認が出来ない場合には、停止して安全確認

○自転車との事故

- ・右折しようとした軽貨物と、坂道をあがろうとした自転車との事故
- ・対向車にばかり気が向き、自転車に気づかなかった。早く帰ろうと焦って起きた事故。
- ・交差点は、左折巻き込み事故、横断中の歩行者との事故など、事故の起きやすい場所。

○漫然運転による信号無視

- ・夜間の交差点、赤信号を無視して進入し、交差する道路の車2台が巻き込まれる。
- ・漫然運転による信号無視。
- ・二人で一日遊び、疲れた状態での運転。赤信号に気づくのが遅れ、停止できずに交差点に進入してしまっただけの事故。

○交差点の安全な通過方法

◇信号機がある場合

- ・信号を守る
- ・右折の場合、直進車優先の原則を守り、十分な安全を確保しての右折
- ・歩行者や自転車など、まわりの危険に注視。
- ・左折の場合、十分に減速し、巻き込みに注意、横断歩行者に注意し、横断歩道の前では一旦停止。

◇信号機がない場合

- ・停止線の前で一旦停止、自分の目で見ることが出来る位置まで徐行で前進し、左右の安全を確認し通過。
- ・車や歩行者が出てくるかも、常に予測しての運転を。

○夜間の運転

- ・夜間は視力が落ちる
- ・ライトの照射範囲以外にも注視

- ・信号器や標識を守り、十分な安全確保を

○自分は大丈夫だと過信しないで

- ・油断、不注意、思いこみ

○過去3年以内に2回以上繰り返すと、「自転車運転者講習」の受講が命じられます

- ・商店街で自転車に跳ねられ、自転車の運転者はいなくなり、怪我人だけが取り残される事故。
- ・心して、自転車に乗ってください。

○対象となる危険行為

- ・交通事故、過失傷害 **申告罪** ←「あの人を処罰してください」と申告されると、刑事事件に。

○事故した場合には、現場から110番してください

- ・学生との事故でその場では110番せずに家に帰り、親から通報、「ひき逃げ」の刑事事件となる。
- ・ビールを飲んだ後、身内が病気や事故となると、酔っているので判断応力を失い、お酒のことを忘れて運転してしまう事件が毎年数件ある。 → ちょっとのことで、**仕事と退職金を失う**

○心にゆとりを持って運転してください

14:52~14:55 質疑

男性Q:本日は国土交通省の参加者なので、道路に関する仕事をしている人も受講していると思う。

道路の構造、作り方として、「ここは良いなあ」「ここはこうしてくれると事故が減るのでは」といったことがありましたら、ご紹介ください。

A:場所によっては自転車と歩行者が安全にすれ違える広い自歩道がある道路もある。平成23年から「自転車は車道だ」との方針を警察が出したが、車道を自転車が安全に走れるようになっていない。自転車も歩行者も車も安全に運転できる、広い道路を造ってほしい。

— 以上 —

